

県老連だより



発行 2018.3
一般財団法人
佐賀県老人クラブ連合会

会長 木下 治 紀

〒840-0804 佐賀県佐賀市神野東二丁目6番1号
(佐賀県在宅生活サポートセンター)

TEL (0952) 33-3520



第46回 全国老人クラブ大会

平成29年10月18日～19日の2日間、全国老人クラブ大会が、古都・京都において開催されました。「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、初日は活動交流部会、1部会「老人クラブ活動を新地域支援事業に活かす」2部会「組織的推進による会員増強運動の展開（以上は事例発表が中心）」3部会「演じる活動（舞台発表）」をテーマに発表・質疑応答が行われました。

2日目は全国からの参加者一六五〇名が一堂に会して、講演、式典が開催されました。

佐賀県からは、木下治紀会長をはじめ表彰受賞者を含め22名が出席しました。

出席者を代表され、全老連優良老人クラブ表彰を受けた唐津市山本老人クラブ、峯 信廣会長から報告をいただきました。

去る、10月18日～20日の間、二泊三日の工程で、佐賀県からは木下治紀会長をはじめ、表彰受賞者を含め22名で全国大会に参加をいたしました。

■1日目

初日は、第2分科会、活動交流部会に参加をしました。

組織的推進による会員増強運動の展開をテーマに3者の発表（京都府綾部市老人クラブ、福岡県那珂川町シニアクラブ連合会、広島市佐伯区老人クラブ連合会）があり、総括を元日本福祉大学教授 中川晴夫氏がされました。

研修に参加しての感想は、各地区においても、会員増強について取り組まれている様子が分かり、当地区でも今後の糧として取り組んでいきたいと思われました。

■2日目

講演 真言宗大谷派僧侶・アナウンサー

川村 妙 慶 氏

「心の荷物をおろす108の知恵～一人ひとりが輝く生き方～」の講演でしたが、自分自身の体験並び実家の寺の問題等について、大変感動するものがありました。

式典においては、厚生労働大臣表彰、全国老人クラブ連合会会長表彰があり、私は唐津市山本老

唐津市老人クラブ連合会 唐津支部

山本老人クラブ会長 峯 信廣

京都府

人クラブを代表して、優良老人クラブの表彰を受けました。全国大会は、大盛会で終了しました。

その後、平安神宮・銀閣寺を巡り、バスにて移動、湯ノ花温泉（溪山閣）にて宿泊、親睦を深めました。

3日目

保津川くんだり乗船体験く亀岡から嵐山渡月橋間で1時間30分船頭さんの巧みな船さばきと案内で水しぶきを浴びながら満喫させていただきました。下船して嵐山で昼食・買い物物を済ませ、バスで移動、鉄道博物館で鑑賞後、京都駅から新幹線で博多駅へ、その後解散式を行い解散しました。木下会長はじめ、武雄市老連事務局長、佐賀県老連事務局の職員には3日間のお世話お疲れさまでした。今後は今回の大会での貴重な経験を活かし、行政、地域と共に諸問題に取り組みたいと思っております。



（報告）

式典では、厚生労働大臣表彰、全国老人クラブ連合会会長表彰が行われ、佐賀県からは次の方々が受賞されました。誠にめでとございます。

【厚生労働大臣表彰】

・老人クラブ育成功労者

神埼市老人クラブ連合会前会長

眞島 三男氏

・優良老人クラブ

伊万里市波多津町浦老人クラブいろは会

（いろは会 久保 清人会長）

・優良市区町村老人クラブ連合会

鹿島市老人クラブ連合会

（鹿島市老連 高松昭三会長）

【全国老人クラブ連合会会長表彰】

・育成功労表彰

龍頭 欣巳氏（鳥栖市老連会長）

眞子 澄子氏（小城市老連副会長）

・優良老人クラブ表彰

唐津市山本老人クラブ

（山本老人クラブ 代表 峯 信廣会長）

鹿島市中牟田白光クラブ

（中牟田白光クラブ 代表 折敷瀬傳会長）

宣言

高齢化の進展しているわが国では、高齢者が地域で安心して暮らし続けられる仕組みとして、地域包括ケアシステムの構築をめざしていきます。

本年度からすべての市町村で実施される新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）では、多様な主体による多様なサービスが求められており、老人クラブの活動経験を活かした、積極的な参画が期待されるところです。

そのようななか、老人クラブが取り組んできた高齢者が支え合う友愛活動、健康づくり活動は、一層重要性を増しています。行政や自治会、社会福祉協議会などの関係団体と共に、すべての人がいきいきと生活できる地域共生社会に向けた取り組みを推進していきたいと存じます。

また、仲間の輪を広げる会員増強運動は、5年計画の4年目を迎えています。これまでの先進例に学びながら、組織をあげて、さらなる取り組みの強化に努めてまいります。

古都・京都に集う私たちは、「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援事業」への参画

一、健康寿命をのばす「健康づくり活動」、支え合う「友愛活動」の充実

一、老人クラブ「100万人会員増強運動」の推進

一、「高齢消費者被害防止キャンペーン」の展開

一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

平成29年10月19日

第46回全国老人クラブ大会

第29回全国女性リーダーセミナー

東京都

「第29回全国女性リーダーセミナー」に参加して

佐賀県老連女性委員長 久野 絹子

平成29年11月16日～17日、東京都「新霞ヶ関ビル」に於いて全国女性リーダーセミナーが開催、参加させていただきましたが、会場は全国から参加された女性委員の熱気に溢れていました。

第一日目は、全国老人クラブ女性委員長の挨拶から始まりました。挨拶では「全国運動として取り組んでいる百万人会員増強運動も四年目に入ったが、さらなる活動への期待、介護保険制度改正による新地域支援事業への参画、高齢者被害防止等々、女性の力は欠くことのできないものであり、女性パワーを全開しリーダーとしての役割を果たしてほしい。」と熱く語られました。事例発表では仙台市から「女性単位クラブ会長の役割と育成について」と題し、女

性会員を増やすための取組に努めていることとの発表がありました。広島市の取組では、会長が情報を共有することで女性会長の育成につなげている取組の発表がありました。また、熊本市では「女性活動を活発にすることで女性会長を増やすことに努力している。」との報告がありました。各県の女性の単位クラブ会長を増やすための素晴らしい活動に感激しました。

二日目は全国消費生活相談員協会の鈴木伸子氏による「高齢者の消費者トラブル防止のために」と題しての講演がありました。高齢者の被害防止には見守り、声掛け、配り等地域活動の大切さを学びました。

その後、寸劇を見て、加害者の巧みな話に多額のお金を払ってしまった被害者の立

場に沿っての考えをグループワーク（16グループ、各6名）に分かれ、それぞれの考えを出し合い、研修を深めることが出来ました。高齢者被害防止には、声掛け、見守り、そして気付いてやることで被害を未然に防ぐことが出来、また最小限度にすることが出来る等を学びました。

全老連では平成29年から31年までを高齢者消費被害防止キャンペーンの推進機関とし、関係機関、他団体と連携し活動を展開することを確認しました。困っている高齢者、一人暮らしへの見守り、声掛けの運動を通して住みよい地域を目指し、女性の役割の重さを学びました。

二日間のセミナーに参加したことに感謝し、これからの女性部活動に活かしていきたいと思えます。



平成29年度県女性リーダー研修会



平成29年11月30日に県在宅サポートセンター（佐賀市）において、女性リーダーの資質向上をめざし県内の女性リーダー70名が参加し、研修会を開催しました。

木下県会長の挨拶のあと、久野県女性委員長から全老連女性リーダーセミナーの報告がありました。

事例発表では、全老連の育成功労表彰を受賞された小城町老連・眞子澄子副会長に、長年にわたり活躍いただいた経験談を発表していただきました。県女性委員で、みやき町老連・平井ヤス子副会長からは、全国大会に参加されたの感想を発表いただきました。今年度から各ブロックから女性も参加することとなりましたので、今後にも積極的に参加いただき、活動に役立てていただきたいものです。

また、高齢者にとって水分補給は大事なことです。夏場だけでなく冬場の脱水症状も注意する必要があります。県栄養士会の服部京子氏に「日常生活における水分補給」の題目で講和をお願いいたしました。

午後からは、いきいきクラブ体操を全員で行い、12グループに分かれてテーマに沿って意見交換や討議を行いました。今回からグループを5〜6名の少人数としましたので、より活発な意見交換が行われていました。

また例年どおり会場の後方には、会員による素晴らしい手作り作品が展示され、女性部活動の参考にと作り方を熱心に尋ねてありました。

グループ討議

■「会員増強」について

- 旅行（1泊、日帰り）、スポーツ大会等の呼びかけはチャンスと思われる。
- 老人クラブ活動は楽しいが、役員は引き受けたくない人が多い。
- 個別訪問をしているが、行政の手助けもほしい。
- 老人会の名称はネットになっていく。
- 活動の種類が豊富で楽しんで参加できることは魅力であり、P

Rして勧誘につなげている。

- 女性のグラウンドゴルフ大会が加入に功を奏している。
- ある年齢に達したら自然と加入する仕組みになっている。

■「友愛活動」について

- まずは近所の方を見守るのが大事である。
- 見守り活動は深入りしない。
- 民生委員、自治会、警察との連携は必要と思われる。
- 独居の方には、特に声かけ（言葉かけ）が一番大事と感じている。
- 孤立を防ぐために、いろいろな行事に積極的に誘うようにしている。

■「女性部の活動」について

- 女性部のグラウンドゴルフ大会、ペタンク大会を開催している。
- マスコットを作成し、交通安全キャンペーンや新入学生に配布している。
- 手芸や料理教室が好評で、会員加入にも一役買っている。
- 友愛活動や施設訪問は女性部の大きな活動となっている。

平成30年1月31日より2日間、東京新霞が関ビルで友愛活動セミナーが開催され、新地域支援事業へ移行する最終年度で、この事業は住民やボランティアなど、そこで暮らす人々で高齢者を地域で支えていく取り組みで、高齢者自身も担い手として大きく期待されている。今回のセミナーは老人クラブが目指す友愛活動を通じて地域支え合いにどのように参画していくかと云う研修をする場に参与其中させていただきました。

老人クラブでこれまで実施してきた、友愛活動、健康づくり、介護予防活動の経験を、いかにして市町村が行う新地域支援事業（新しい介護予防日常生活支援）に地域住民とともに参画をしていくべきか課題であると思っています。

また、これから目指す友愛活動について①生活支援②通いの場づくり③見守り支援④健康づくり支援⑤情報伝達支援、活動成果を高めるためには、行政や、協議体、関係機関との連携が重要であると思います。

その上で老人クラブは要請、

連携を持つのではなく、まずは全体的に従来の活動を点検、検証し、活動の充実に向け努力していく必要があります。

団塊の世代が75歳以上となる二〇三五年を用途に重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るよう医療、介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される体制を構築しなければなりません。今後認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要であります。

新地域支援事業や地域を支え合いにつながる友愛活動など、このセミナーで重要性を認識し、併せて老人クラブの友愛活動の現状を考える機会でありました。自治体ごとに取り組み方法やスピード感にも違いがあり、行政や協議体によって老人クラブへの期待や関心にも違いがあると思われました。しかし、住み慣れた地域で安心して暮らすために何が出来るか、問われていると思います。

鹿島市老連理事 中島 邦保

平成30年度 収支予算書 (正味財産増減ベースを簡略)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科	目	予算額
I	正味財産増減の部	
1	経常増減の部	
(1)	経常収益	
	基本財産、特定資産運用益	2,000
	分担金	8,073,000
	事業収益	2,710,000
	受取補助金等	7,844,000
	受取負担金振替額	0
	受取寄付金	15,000
	雑収益	1,000
	経常収益計	18,645,000
(2)	経常費用	
	実施事業（事業費）	17,518,000
	健康保持増進事業	3,134,000
	高齢者相互支援推進啓発事業	6,299,000
	リーダー養成事業	5,785,000
	育成指導普及事業	2,300,000
	九州ブロック事業	1,336,000

科	目	予算額
	法人会計（管理費）	
	法人運営等	4,159,000
	経常費用計	23,013,000
	当期経常増減額	△4,368,000
2	経常外増減の部	
(1)	経常外収益	0
(2)	経常外費用	0
	当期経常外増減額	0
	他会計振替額（他会計繰入、他会計繰出）	0
	当期一般正味財産増減額	△4,368,000
	一般正味財産期首残高	21,798,000
	一般正味財産期末残高	17,430,000
II	指定正味財産増減の部	
	受取負担金（九州ブロック積立金）	226,000
	一般正味財産への振替額	0
	当期指定正味財産増減額	226,000
	指定正味財産期首残高	0
	指定正味財産期末残高	226,000
III	正味財産期末残高	17,656,000



高齢者訪問支援活動

推進員養成講座は、県老連と佐賀県在宅生活サポートセンターとの共催で毎年開催しています。

今年度は五回の講座を実施し、214名の会員（ボランティアヘルパー）が講座に参加していました。

平成29年度の講座の内容は次のとおりでした。

1. 開会
2. 在宅生活サポートセンター紹介
（センター施設、展示室、バリアフリー住宅の見学、介護技術等）
（昼食、休憩）
3. 友愛活動に関する講話
「笑顔で広がる仲間の輪」
4. 脱水症と水分補給
5. 閉会

参加された会員の感想をいただいていますので、紹介させていただきます。

在宅サポートセンター紹介

● いろいろなアイデア商品が展示されており、参考になりました。会員の皆様に普及したいと思います。

● 説明を聞いてよかったです。介護のことがよくわかり、参加してよかったです。

● 役目済ませのつもりで参加しましたが、良い体験をさせてもらいました。

● サポート器具の多さ、改良発展状況に驚きました。



友愛活動に関する講話

● 楽しく話を聞くことが出来ました。これからは生きがいを見つけ、人のために笑顔で接していこうと思います。

● 笑うことの大切さ、脳トレは中々難しい！！例会等で紹介していきたい。

感想

● 初めて参加していろいろなことを学び、自分自身の勉強になりました。サロンのみなさんに話をしたいと思います。

● 人生の終末期にさしかり少し寂しいような、心強いような複雑な気持ちになりました。今後は地域での仲間作りと笑いの大切さ、生き甲斐をもって、少しでも人の役に立てればと思います。

他にもたくさんアンケートをいただきました。ご協力ありがとうございました。

平成30年度も養成講座を開催いたします。講座に参加されていない会員の方の参加をお待ちしています。





平成29年11月22日(水) 鹿島市民交流プラザに於いて、「第4回佐賀県老人クラブ囲碁大会」(佐賀県老人クラブ連合会主催、碁聖寛蓮顕彰会協賛)が開催されました。

木下治紀県老連会長の開会挨拶、藤永勝之碁聖寛蓮顕彰会会長の歓迎の挨拶、高松昭三大会審判長の試合上の注意の後、午前10時から試合が開始されました。

選手総勢70名の方々は、市町老連の名譽にかけて、真剣に碁を打たれ、会場内は熱気にあふれ、応援にも熱が入っていました。

各チーム四回戦を戦い、その結果、唯一、四戦全勝の好成績を収められたみやき町チームの優勝となりました。

準優勝は神埼市チーム、三位は佐賀市チームの順でした。みやき町は前回まで三年連続二位でしたが、今大会で見事優勝されました。みやき町チームの皆様、誠におめでとございます。



優勝されたみやき町チームの皆様

優勝できなかった選手の皆様、来年リベンジされるように願っています。

来年度(平成30年)は、同会場にて10月17日(水)に開催予定です。多くの市町老連の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、会場の設営から大会運営まで協力いただいた「碁聖寛蓮顕彰会」の皆様、誠にありがとうございました。

第40回 佐賀県老人クラブゲートボール大会

平成29年10月11日水曜日、佐賀市民運動広場において、佐賀県老人クラブゲートボール大会が開催され、県内20市町から29チームが参加されました。

木下治紀佐賀県老人クラブ会長の挨拶と、伊万里市井手野チーム、堀田正義さんの力強い選手宣誓の後、各コートで予選が行われ、熱戦が繰り広げられました。

選手宣誓 「我々選手一同は、さわやかな秋空の下、第四十回佐賀県老連ゲートボール大会において互いの健康増進を高め、元気に楽しく、今大会の上位入賞を目指し競技することを誓います。」 選手代表 伊万里市 井手野チーム 堀田正義

決勝戦は千代田町姉チーム 対 佐賀市東与賀チームで争われました。決勝戦にふさわしく、白熱した戦いで10対10と同点でしたが、第三ゲート通過者が東与賀チームにおられ、千代田町姉チームには第三ゲート通過者がおられなかったことで、佐賀市東与賀チームの勝利となりました。

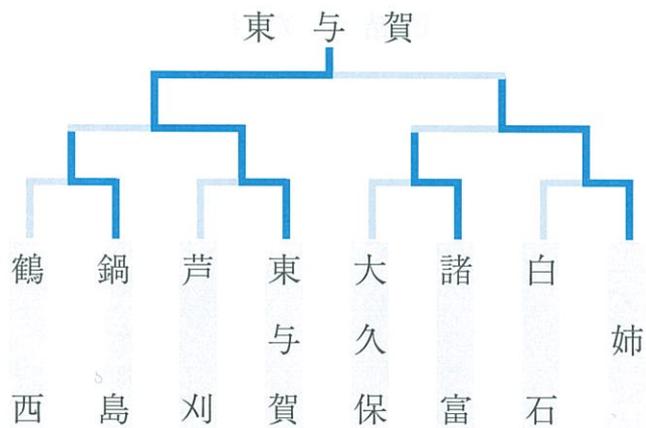
両チームとも最後まで、手に汗を握る戦いをされ、見事でした。

3位決定戦は、鍋島チームと諸富チームの佐賀市同士の対戦となり、15対13で鍋島チームが3位の成績でした。

上位4チームには賞状と賞品が贈られました。選手の皆様、各市町の役員の皆様ご協力ありがとうございました。



選手宣誓 堀田正義さん



第14回 佐賀県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会

平成29年10月4日水曜日、第14回佐賀県老人クラブグラウンド・ゴルフ大会が佐賀市民運動広場において開催されました。

木下治紀佐賀県老連会長の挨拶、大町町老連、田島武重さんの力強い選手宣誓で始まり、336人の選手の皆様が、秋晴れの下、楽しく、元気に最後まで大会を盛り上げていただきました。

各パートの10位までの表彰者は下記のとおりです。おめでとうございます。

黄パートの優勝者、安藤高さんは前半9、後半15、合計打数24、と圧倒的な強さで優勝されました。（今大会での30打を下回った方は安藤さんのみ）

各パートの上位10名には賞状と賞品が贈られ、盛会のうちに閉会となりました。

平成30年度は10月24日（水）に大会を実施いたします。選手の皆様、係りの皆様、来年も大会が盛り上がるように、ご協力をお願いします。



選手宣誓 田島武重さん



各パートごとの優勝者及び10位までの成績

黄パート

優勝	安藤 高
準優勝	松尾 和子
3位	中嶋一二三
4位	江口 利郎
5位	小形 勝昭
6位	中島 福夫
7位	三根 功
8位	犬塚 弘幸
9位	川添喜美子
10位	田中 勝郎

緑パート

優勝	朝日 弘
準優勝	福田 松枝
3位	川添 学
4位	松江シヅ子
5位	樋口政次郎
6位	八坂 絃基
7位	久米 義信
8位	牟田 俊男
9位	吉村 俊治
10位	筒井 義隆

赤パート

優勝	渡辺 稔
準優勝	山崎 秀雄
3位	片渕 勝廣
4位	桜木紀久雄
5位	山口 芳則
6位	山中 智
7位	西津 昇
8位	中島佐代子
9位	今橋 省三
10位	大石 清次

9月20日「社会奉仕の日」活動に 30,552名が参加

全国一斉「社会奉仕の日」を中心に、県内の各クラブにおいても資源物のリサイクルや地域の公共施設、公園、道路の環境美化活動に取り組んでいただきました。

今年度も、たくさんの会員のご参加ありがとうございました。皆様お疲れ様でした。



白石町



鹿島市



伊万里市



基山町

参加クラブ数及び人員

市町老連名	クラブ数	人員	市町老連名	クラブ数	人員	市町老連名	クラブ数	人員
佐賀市	305	11,428	小城市	26	434	玄海町	16	440
唐津市	117	2,925	嬉野市	53	1,243	有田町	40	990
鳥栖市	38	801	神埼市	70	1,350	大町町	22	811
多久市	7	362	吉野ヶ里町	24	550	江北町	30	971
伊万里市	32	1,878	基山町	4	90	白石町	52	1,791
武雄市	70	1,807	上峰町	22	380	太良町	8	248
鹿島市	24	478	みやき町	51	1,575	合計	1,011	30,552

鹿島市老連

体力測定

平成29年12月12日（火）、12月14日（木）の二日間、鹿島市老連において、健康づくり体力測定が実施されました。やや肌寒



い中ではありましたが、参加者の皆様は、元気よく取り組みました。

測定種目は、①握力、②上体起し、③長座体前屈、④開眼片足立ち、⑤10m障害物歩行、⑥6分間歩行、の六種類です。

鹿島市老連では二年に一回実施されており、前回の測定結果と比較をされ、ご自身の体力の確認をされていました。

ご自身の体力を知

ることは、日々の生活において重要とされます。よろしければ、各市町老連においても実施されてはいかがでしょうか。県老連事務局にお声かけください。



金立老人クラブ

藤原 千房

縄文文化の タイムカプセル 「東名遺跡」

ひがしみょう

私たちが住む佐賀市金立町には、葉隠れ発祥の地や徐福伝説など多くの歴史資産があります。その中でも特筆すべき史跡が「東名遺跡」です。

「東名遺跡」は約八千年前（縄文時代早

期の、日本最古の湿地性貝塚遺跡で、縄文海進により5メートルの粘土でパックされた特殊条件により、日本最古の編みかご731点を始め、最古と思われる多数の植物性製品が八千年前の姿のまま発掘されました。発掘物総数は20万点に及び、その内、約三千点は国の重要文化財に指定される予定です。又、その内、100点余りは現在、発掘地「巨勢川調整池」の敷地内の「東名縄文館」で展示されており、金立老人クラブ会員も所属している「NPO東名縄文の会」が管理・案内をしています。

「東名遺跡」の重要性は、①居住地・墓地・貝塚（捨て場所）・貯蔵穴（植物保存施設を含む）「複合遺跡」であり、当時の生活を一番良く表しているタイムカプセルであること。②発掘された貝輪には、鹿児島より南でしか生育しない



金立老人クラブの方々
左端が筆者の藤原千房氏

「オオツタノハ」という貝等があり、当時の交易あるいは、移住が非常に広範囲であったこ



れた4カ所の貝塚です。発掘された2カ所の貝塚と居住地から発掘された20万点の内の約3000点は国の重要文化財に指定される見込みですが、その指定を受ける為には、温度・湿度・紫外線等が管理できる施設が必要であり、佐賀市はその建設を検討しています。

私達「NPO法人東名縄文の会」や、地元住民の皆様、そして全国の古代歴史専門家、愛好家の皆様は、一致して、「発掘地と展示施設は一

体であること」とし、その建設場所は「東名遺跡」近辺でなければならぬと運動を繰り広げています。県内老人クラブの皆様、ぜひ見学においでください。私たち金立老人クラブの会員が案内をいたします。この運動にご理解とご協力をお願いします。



と。③鹿の角でつくられたペンダント（腰飾り？）や六つ目編みかご等芸術的な美意識が高かった。④そして、何より日本古来（世界最古？）の編みかご現物が当時のままの姿で、多数（縄文時代編みかご総数の約6割）、しかも、編み方は10数種類以上で、編みかごの編み方は八千年前に既に完成しており、その技術は現在も受け継がれていること。等、これまでの縄文時代の認識を大きく覆し、教科書をも変更させる遺跡です。

「東名遺跡」は一昨年10月3日、国の史跡に指定されました。しかし、それは6カ所の貝塚の内、発掘されないで保存さ

みやき町三根校区 老人クラブ

会長 中島 正利

児童との交流 〜注連飾り作り〜について

当老連では、毎年、年の瀬も押し詰まった12月半ばに、二校の小学5年生を対象に注連縄飾り作りの実習を行っています。今年も67名の児童に12名の理事・役員が、マントーマンで実習しました。稲ワラの本数を数え、寸法を計って切断します。（稲ワラは、予め役員で綺麗に揃えて置きます。この作業も、非常に大変です）そして、本数を数えた二つの稲束で注連縄を作って行く訳ですが、これが一番難しい工程です。我々役員は事前に研修をしていますが、児童は、ぶっつけ本番で中々難しく、四苦八苦で頑張りました。

漸く役員さんの丁寧な指導で注連縄が出来上がり、飾りを付け約2時間がかりで完成です。完成時の児童達の顔は、みんなとても喜びに満ち溢れた笑顔でした。私には、

それは、出来上がった喜びも然る事ながら、新しい年を迎えるに当たっての貴重な仕事のひとつを、自分達の手で実践したと言う、何とも言えない充実感・満足感があつたのではないかと思われました。

この事業は、薄れ掛けてきた、言わば伝統的行事に、直接児童たちに触れてもらう貴重な時間であろうと思われ、藁などの材料の準備は大変ですが、今後とも是非とも続けて行きたい事業のひとつではないかと再認識しました。理事・役員のみなさん、事前準備、朝早くからの作業、大変ご苦労様でした。



鹿島市 老連

会長 高松 昭三

年金支給日の「詐欺予防」について

「子供は風の子」だったら、「年寄り」は「陽の子」でしょうか？

今年の寒さは凄いですネ！ 雪の縁遠い九州なのに、立春なのに積雪です。特に東北や、首都圏の交通機関は連日の大混乱のニュースです。

処で寒いのはお天気だけではなく、老後の生活にコツコツ蓄えた大切なお金を「食い物」に狙う「寒々しい話」が後を絶ちません。国民三大義務の一つ「勤労」に反し、勞せずして人様の宝を盗んで暮らす「ダニ」を撲滅しなければなりません。



過去の特殊詐欺事件の発生被害件数は、

平成28年佐賀県69件、

2億2千5百万円

平成29年佐賀県64件、

1億4千5百万円

佐賀市28件、鳥栖9件、上峰5

件、と上位を占めています。

鹿島老人クラブでは、年金支給日に銀行、郵便局、農協の支所に出向き、被害者の中で65歳以上が上位を占める高齢者に注意を促しています。「私は大丈夫」と言う人ほど危険。



3つの会員増強運動

1. 「勧誘から始めよう！」－会員一人ひとりが勧誘の担い手です－
2. 「クラブでPRしよう！」－知られていますか、あなたのクラブ－
3. 「クラブをつくろう！」－すべての地域にクラブの設置を－

見守り 新鮮情報

「総合消費料金に関する**訴訟最終告知**」という**ハガキ**が届いた。**訴訟**や**差し押さえ**などと書かれており、**怖くなって**ハガキに書いてあった電話番号に**連絡**したところ、「あなたは買った物の**代金を支払っていないため、企業**

から訴えられている。弁護士に確認したが取り下げに間に合わないので、**示談金として10万円**をコンビニで支払うように」と言われた。**全く身に覚えがないの**に支払わなければならないのか。

(60歳代 女性)



相談急増 ハガキによる架空請求

ひとこと助言

架空請求は無視!



見守るくん

- ハガキによる架空請求に関する相談が増加しています。
- 行政機関を装い、「未納料金の訴訟最終告知」等と書かれたハガキが自宅に届き、文面に「訴訟を起こす」「差し押さえ」などと法律用語を使って不安をあおり、ハガキに記載のある連絡先に電話をかけさせようとするものです。連絡をするとお金を要求されたり、電話番号等の個人情報を知られてしまったりするケースもあります。
- このようなハガキが届いても、決して連絡してはいけません。
- 少しでも不安に思ったときは、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください(消費者ホットライン188)。

老人クラブ 3つの保険〈掛金・補償内容〉

傷害保険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対象：老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ
「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」の6タイプから選択してください。

1		24時間型					
		〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉					
		クラブ活動中のケガの場合は、 自賠 + 任意グレ の合計 黒色 の保険金額が支払われます。		クラブ活動中以外のケガの場合は、 任意グレ のみの保険金額が支払われます。			
年間掛金		10,000円		5,000円		3,500円	
ケガをした時の状況	補償内容	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金		170万円	217万円	85万円	109万円	45万円	91万円
		387万円		194万円		136万円	
(注1) 後遺障害保険金		170万円	—	85万円	—	45万円	—
		170万円		85万円		45万円	
(注2) 入院保険金日額 (1事故につき30日限度)		4,000円	2,280円	2,000円	1,140円	1,000円	950円
		6,280円		3,140円		1,950円	
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)		2,600円	1,700円	1,300円	850円	650円	600円
		4,300円		2,150円		1,250円	

※「24時間型」の職種級別A級は無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B級(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

ご注意 ● 職種級別B級に該当するおもな職種

- ・建設作業者、自動車運転者、採鉱・採石作業者などの傷害リスクの高い職業。
- ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
- ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

2		活動型		
		〈クラブ活動中とその往復路上(注3)のケガを補償します。〉		
		クラブ活動中のケガの場合は、下表の保険金額が支払われます。 クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。		
年間掛金		2,000円	1,000円	500円
ケガをした時の状況	補償内容	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合
死亡保険金		170万円	85万円	45万円
(注1) 後遺障害保険金		170万円	85万円	45万円
(注2) 入院保険金日額 (1事故につき30日限度)		4,000円	2,000円	1,000円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)		2,600円	1,300円	650円

ご注意 クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)
 ※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中、10倍となります。
 ※注3 往復路上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象：老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補償：支払限度額1億円

 **公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係**

TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号
 〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769
 〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は「老人クラブ団体傷害保険 総合生活保険(傷害補償)」の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

平成30年度 佐賀県老人クラブ指定旅館契約一覧

佐賀県	旅館 初音 荘 (嬉野市)	光 陽 閣 (嬉野市)	ひぜん祐徳温泉 (鹿島市)
	伊万里温泉 (伊万里市)	吉野ヶ里温泉 (上峰町)	大町温泉 (大町町)
福岡県	桑之屋 (うきは市)	つるき荘 (うきは市)	甘木館 (朝倉市)
	原鶴グランドスカイホテル (朝倉市)	かんぽの宿柳川 (柳川市)	
長崎県	雲仙いわき旅館 (雲仙市)	有明ホテル (雲仙市)	長崎ブルースカイホテル (長崎市)
	サムソンホテル (平戸市)	Alega 軍艦島 (長崎市)	雲仙みかどホテル (島原市)
	ホテル南風楼 (島原市)	東洋九十九ベイホテル (島原市)	平戸オランダ商館 (平戸市)
熊本県	荒木観光ホテル (熊本市)	旅館 金 時 (阿蘇市)	つかさの湯 (玉名市)
	ホテルセキア (南関町)		
大分県	天 龍 荘 (日田市)		

会員章を胸に活動の輪を広げて

老人クラブ会員章は、会員一人ひとりの意欲とクラブの誇りを示すシンボル。

そして仲間、連携のしるしです。

あなたも会員章を胸に、地域の担い手としていきいきと輝きながら、クラブ活動を広げていきましょう。

会員章 1個 1,000円

県老連事務局で取り扱っています

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

